



結び場 一次世代型ベッドタウンにおけるニューノーマルー

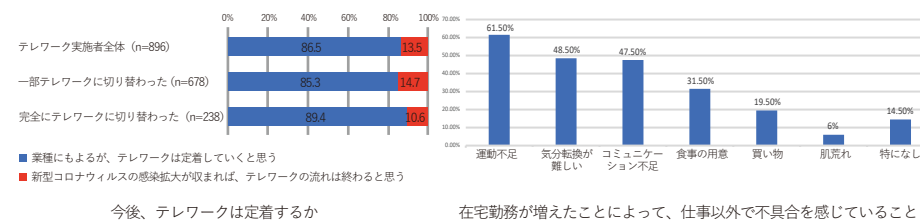
Prologue

私の地元、千葉県北部はベッドタウンとして発展してきた。ユーカリが丘のバブル期に建てられた高層マンション群は、完成して約 30 年経ち、一斉に老朽化し、大量廃墟化する恐れがあるのではないかと危機感を抱いた。COVID-19 や情報テクノロジーの発展によりライフスタイルの変化が予測される時代において、職場と居住空間が分離された今のベッドタウンはいかに変わるべきか、新しい時代のベッドタウンの形について考える必要がある。



Social Background

COVID-19 は情報テクノロジーの必要性を要求する上で、人々の生活に大きな影響を与えた。緊急事態宣言により外出自粛を余儀なくされ、多くの企業でテレワークが導入された。With コロナで新しく定着するであろう働き方として多くの人がテレワークを上げるなど、働き方の変化がみられた。また、テレワークにより在宅勤務が増えたことで、運動不足の解消や気分転換の機会を必要とし、他者とのコミュニケーションの面で不具合を感じている人も多いことがわかった。

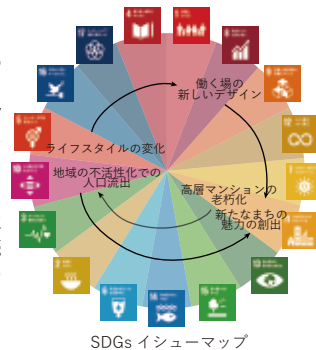


Problem

高層マンションの老朽化により新たな入居者が減り、退去する人は増え、負の連鎖が街全体で起こる可能性がある。ライフスタイルの変化も起こる今、ベッドタウンの形は変化の時代に入った。

SDGs

本提案では、時間経過に伴った段階的な SDGs の達成を目指す。これにより、ライフスタイルの変化と高層マンションの老朽化の問題が様々な達成目標に関係することが分かった。複数の目標を同時解決することを目指し、右図のマップを持続可能な未来を実現する提案の指標とし、建築設計を行った。



Site

千葉県佐倉市ユーカリが丘地区

ユーカリが丘は、千葉県佐倉市にあるニュータウンであり、都心へのアクセスもよく、ベッドタウンとして発展してきた。開発当初から掲げたとおり、「成長管理型」なる仕組みにより、計画的に住戸を販売し、あらゆる世代の人々が暮らすまちを実現してきた。しかし、ユーカリが丘のバブル期に建てられた高層マンション群は老朽化し、住民の入居件数が減り、まちが徐々に衰退していく未来が予測される。

ユーカリが丘に住む人の職種

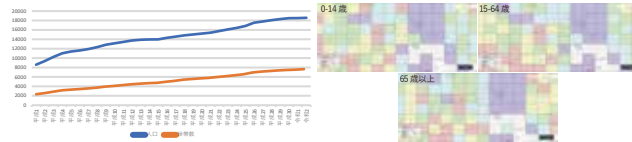
ユーカリが丘に住む人の職種は、事務職、専門・技術職、販売、サービス職従事者の順で多いことがわかった。販売やサービス業はテレワークが難しいため、ユーカリが丘では、テレワークと出社勤務、各々に向けた提案が必要と考えた。

地区名称	地区代码	地区名称	地区代码	地区名称										地区名称	地区代码																																				
				地区名称	地区代码	地区名称	地区代码	地区名称	地区代码	地区名称	地区代码	地区名称	地区代码																																						
北京市	110000	天津市	120000	河北省	130000	山西省	140000	内蒙古自治区	150000	辽宁省	210000	吉林省	220000	黑龙江省	230000	上海市	310000	江苏省	320000	浙江省	330000	安徽省	340000	福建省	350000	江西省	360000	广东省	440000	广西壮族自治区	450000	海南省	460000	四川省	510000	贵州省	520000	云南省	530000	西藏自治区	540000	陕西省	610000	甘肃省	620000	青海省	630000	宁夏回族自治区	640000	新疆维吾尔自治区	650000

職業別 15 歳以上就業者数

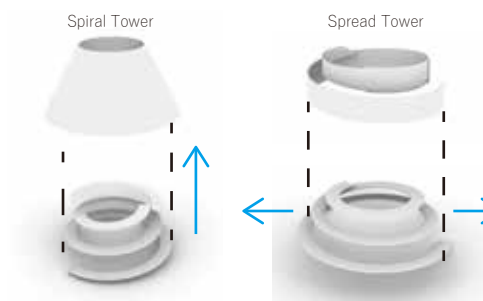
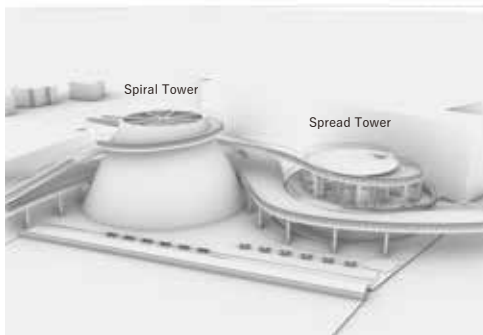
ユーカリが丘の人口

ユウカリが丘の「成長管理型」政策のため、一環して人口が増加傾向であり、年齢別人口にあまり大差が見られなかった。しかし、住戸数に限りがあり、あと数年で新たな住戸供給は終わるため、今後の人口増加は見られないと予測されている。



ユーカリが丘の人口推移

Diagram

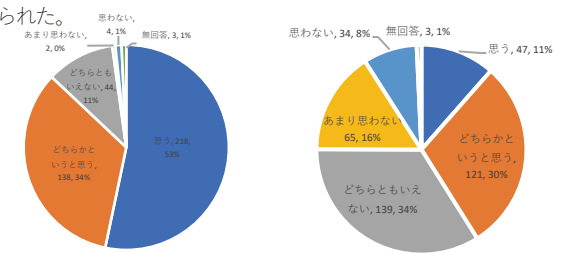


スロープを建物の外側に巻くように配置し、建物をガラス張りにすることで水平方向に人の活動が広がっていく

スロープを建物の内側に巻くように配置し、建物の外壁を設けることで垂直方向に人の活動が広がっていく

ユーカリが丘のコミュニティ

ユーカリが丘がある佐倉市では、地域コミュニティを大切にする必要があるという意見が多く見られるのに対し、コミュニティ形成ができていないという問題点がみられた。



地域コミュニティを大切にする必要があるか

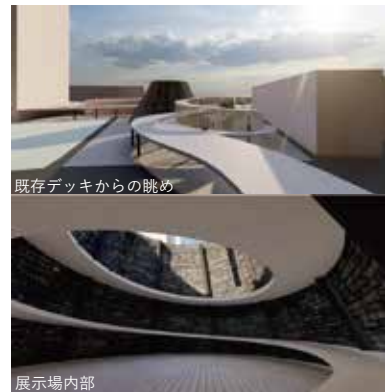
Proposal & Design Process

次世代型ベッドタウン（＝住民間のコミュニティを活性化し、アクティブな循環を生み出すことで好循環の輪が生まれるまち）を具体化するべく、まちと建築と人を結び『結び場』を計画した

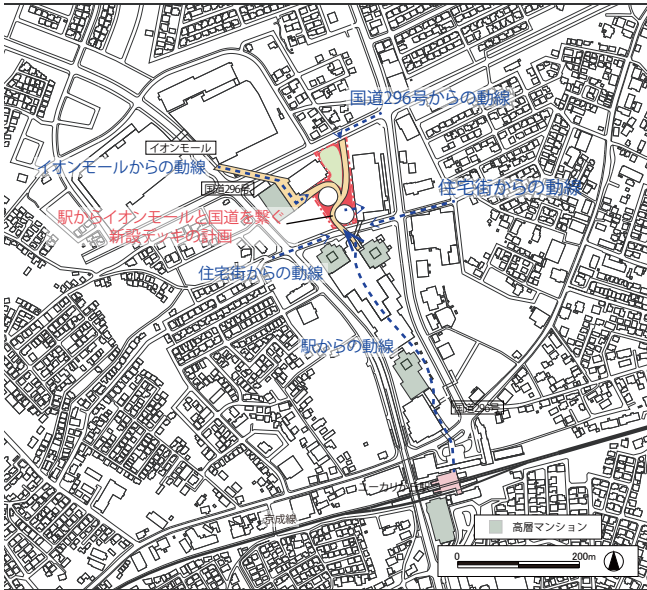
『結び場』のデザインプロセス

1. まちとまちを結ぶ
周辺のあらゆる方面からの動線を結ぶ新設デッキ (Yukari Sky Deck) をかけた

2. まちと建築を結ぶ
新設デッキと建物のスロープを繋げるこ
とでまちからの動線を建築に巻き込んだ

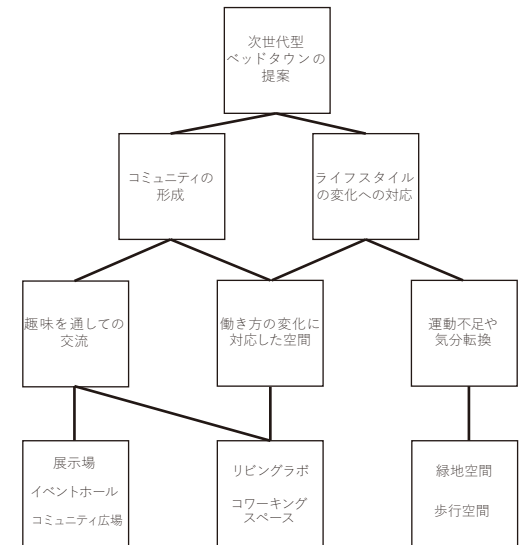


展示場内部



全体計画図

機能抽出



『結び場』のデザインプロセス③に基づき、用途を混ぜて配置することで、普段交流しない人たちが偶発的に出会い交流するきっかけをもたらす

